

科目名		ヘルスリテラシー特論	
科目責任者		黒坂 知絵 (人間情報科学 准教授)	
開講時期:	1年次後学期	単位数:	1 単位
		時間数:	90分× 8 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>近年、医療や保健、教育等の分野で注目されてきている「ヘルスリテラシー」に関して、その定義や要素分類、評価法、そしてヘルスプロモーションや健康教育との関係性を理解し、人々が良好な健康状態の維持増進のために必要となる情報やサービスにアクセスし、理解し、評価し、活用できるように支援していく方法等について探究する能力を養う。</p> <p>1) ヘルスリテラシーの定義とその要素や評価法について説明できる。 2) ヘルスリテラシーとヘルスプロモーション、健康教育との関係について説明できる。 3) 医療や保健、教育の現場等でヘルスリテラシーを高める方法を提案できる。</p>			
● 評価方法	課題レポート 60%、討議への参加度 20%、討議や質問時の発言内容等 20% について得点化し、100点中60点以上を合格とする。		
● 参考文献	「ヘルスリテラシー 健康教育の新しいキーワード」大修館書店(2016年)		

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1	ヘルスリテラシーとは	ヘルスリテラシーの定義、ヘルスリテラシーの理論や要因を理解する	黒坂
2	ヘルスリテラシーの歴史と広がり	ヘルスリテラシーが誕生するまで、現在と概念の拡張について理解する	黒坂
3	ヘルスリテラシーの評価法	ヘルスリテラシーに関する様々な評価法について理解する	黒坂
4	ヘルスリテラシーと健康教育	ヘルスリテラシーとヘルスプロモーション、健康教育との関係について理解する	黒坂
5	ヘルスリテラシーと情報	ヘルスリテラシーと情報との関連やアプローチ法、言語の課題について理解する	黒坂
6	学校教育や職場におけるヘルスリテラシー	学校や職場での位置づけや取り組みを学び、課題について討議する	黒坂
7	地域や医療機関におけるヘルスリテラシー	地域での取り組みやプライマリケアとの関連性を学び、今後のありかたを討議する	黒坂
8	ヘルスリテラシーの今後	これからの社会におけるヘルスリテラシーの方向性について討議する	黒坂